□仙台・石巻市の被災地の現状の報告

日程　　平成23年7月14、15日

訪問地　14日　→　J-COM仙台（仙台市泉区）、fmいずみ797（仙台市泉区）、ベガルタ仙台（仙台市青葉区）

15日　→　遠藤興業（石巻市大街道）、仙台市震災復興本部（仙台市青葉区）

＊遠藤興業では、津波で浸漬された本社家屋の地下室の消臭と除菌をﾌｫﾄﾌﾟﾛｶﾞｰﾄﾞで施工、状態の確認。

仙台市を出発地→目的地の石巻市（全行程　約64Km）

＊三陸道が無料化となったため終日混雑し、仙台からは一般道で走行。

仙台市内の震災の影響：

14日の13:45に仙台駅に到着、コンコースは節電の実施もあり薄暗い状態。各地からのボランティア、視察や営業の目的か、中央改札口周辺は常に混雑の状態であった。

（＊東京から仙台は満席状態で、当日切符はほぼ空席は無し）

仙台市内は震災の後遺症が残つた様子もなく、道路や地下鉄なども正常で、商店なども何故か活況のように見えた。

夕方　住友商事のご紹介で、国分町にある割烹/花板で食事をしたが、あまりの盛況で驚いた。
店長の説明によると、震災後各地から出張や視察で仙台市内に入り、宿や有名飲食店などはほぼ予約で満杯とのこと。
確かに当日の宿泊の予約も苦労してとっていただきました。

□石巻市の被災地

大街道の住宅街（港より約4Kmの地点）

空家となった民家の入り口（泥が堆積している）

旧家の入り口、掃除をして諦めたのか？

→

泥が室内まで入り、クロバエが飛び回っている

家屋が傾き、車も放置された状態

見るほどに津波の恐ろしさが想像でき、身震いしそうな状況

□遠藤興業社屋の地下（ﾌｫﾄﾌﾟﾛｶﾞｰﾄﾞの使用による、消臭の試験施工）

クロスも張り替えた状態で、臭気はほとんど感じられない。（当初はヘドロ臭が強く、短時間でも居られなかったと説明）

フォトプロガードによる施工の実例を増やすとともに、同社でサンプルを配布し、使用例を増やすとともに役所にも説明

□港に隣接する日本製紙石巻工場の被災状態

石巻市南光町

□石巻市で津波の被害が最も大きい南浜町の住宅地域

中近東の戦禍の様子と類似する悲惨な状態

地震ではなく、津波による被害。この地で何百人、何千人の人がまだ行不明となっています。